

裁判所構成法中改正法律案外一件特別委員會議事速記錄第一號

付託議案

定年二因ル退職判事検事ノ恩給ニ關スル法律案

委員氏名

委員長

伯爵寺島 誠一郎君

武雄君 護立君

男爵小澤 松室 致君

男爵若王子 文健君

男爵島津 久賢君

仲小路 廉君

磯部 四郎君

矢口長右衛門君

大正九年七月十五日(木曜日)午前十時九分開會

○委員長(侯爵細川護立君) ソレデハ是ヨリ委員會ヲ開

○國務大臣(伯爵大木遠吉君) 唯今ノ議題ニナリマシタ

○裁判所構成法中改正法律案、此案ヲ此短期議會ニモ拘

○ラズ提出致シタコト、及ビ其大體ニ付テ一應ノ御説明ヲ申

上ゲマス、元來司法省ニ於キマシテモ、獨リ此案ノミナラズ

又少年矯正院ノミナラズ、其他ニモ或ハ借地法案、借家法

案ノ如キ緊急ナル案ト認メル案モ多々アタマニアリマスケ

レドモ、併ナガラ此臨時議會ノ性質ニ鑑ミテ、他ノ案ノ提出

ハ見合シタノデアリマス、然ルニ拘ラズ此裁判所構成法中

改正法律案ヲ出シマシタ所以ハ、理由書ニモ略書イテアリ

マスガ如ク、其本源ノ趣意ハ一定ノ退職年限ヲ定メテ而シ

テ此後進ノ進路ヲ開拓シ、又部内ノ氣風ヲ刷新スルコトガ

何トシテモ必要アル、斯様ナ見地カラ提案シテ次第ア

マスガ如ク、其大體ノ趣旨ハ後進ノ進路ヲ開キ、部内ノ

氣風ノ刷新ヲ促スコト、斯様ナ趣旨ニアリマス、是カ主モナ

ル點ニアリマス、而シテ檢事總長ノ地位ヲ從來ノニ現在

ノ狀態ニハ甚ダ權衡ヲ得ナシ、行政裁判所ノ長官カ、或ハ

會計檢查院長ナド、ソノ以前ハヨリ以上ニアタ歴史モアッ

タサウデアリマス、又今回定年ニナッテ

退職ニナルニ付テハ、一面ニ親任官トモナリ得ル途ヲ造ルコ

トハ、又其職務ノ大變樂ミテ持ツデハアルマイカ、斯様ナ意

味ニ於テ檢事總長ヲ親任官トスルコトヲ定メタノデアリマス

ヌ、是が第二ノ要點アリマス、其外ハ通譯官ヲ設クル、又書記長ノ任命ヲ爲スト云フヤウナコトニ付テハ、又細カイコ

トハ政府委員カラ十分御説明ヲ申上ゲルコトデアリマス、大體此案ニ付キマシテ、御承知ノ如ク六十三ト六十五ト

幾計ノ差モナイジヤナイカト云フヤウナ御議論モアルヤウニ

承リマスガ、原案ニ於キマシテハ六十歳ト云フノヲ設ケタノ

デアリマス、六十歳ト六十三歳ト六十歳ト、其職掌上ノ勤勞上ノ程度ニ依リマシテ三階級ニ分カタノデアリマスガ

樞密院ニ於キマシテ六十歳ト云フノハ早過ギルト云フコト

デ削ラレタ譯デアリマス、ソコデ殘ル所ガ六十三ト六十五ハ

スウ分タ次第デアリマス、ソレニ付テノ巨細ノ説明ハ、政府

委員カラ申上ゲルコトニ致シマス、大體此案ハ今迄極メテ

外間ニ漏洩スルコト極メテ避ケタノデアリマス、其所以ハ

斯様ナコトガ前ニ世間ニ吹聴セラレルト、唯種々ナ惡影響

ヲ生ジテ折角ノ案セ運命ヲ危クスルノミナラズ、一體ノ氣風

ニ於テ非常ナル憂フベキ徵候ヲ呈スル、斯様ナ意味デ極メテ

祕密ニ附シタノデアリマス、然ルニ此議會ニ提出シタル以

上ハ、最早世間周知ノコトトナリマシテ、是ガ不幸ニシテ若

シ帝國議會ヲ通過スルコトガ出來ナカタトナリマスルト、其

結果ハ矢張リ外間ニ漏洩シテ惡影響ヲ生ズルト等シク、ヨ

リ以上ニ部内ニ於テハ非常ナ惡影響ガ起ルコトデアルノデ

アリマス、ドウノ此案ハ大局ノ上カラ御判断ヲ願シテ而シテ

御通過アラムコトヲ切望スル次第アリマス、尙ホ詳細ナ所

ハ政府委員カラシテ尙ホソレカラ此構成法ノ改正ニ伴ヒマ

シテ恩給法ノ改正案モ出テ居リマス、恩給ニ關スル法律案、

退職判事、檢事ニ關スル恩給ニ關スル、是ハ新法ニ依リマ

シテ定年ニ達シタクハニ退職スル所ノ判檢事ヲ、普通ノ文

官ノ恩給タクトニ用ヒテ居ルヤウナ場合モゴザイマス、即チ

ベキモノデアル、斯様ナ趣旨カラ普通文官ノ受クル所ノ恩

給ヨリモ通ジテ之ヲ増加シテ、都合ノ爲ニ停職ニ至ル所ノ

者ニ限シテ、普通文官ヨリ五割ノ恩給ヲ増シテヤル、是ハ五

割デハ甚ダ氣ノ毒ノヤウニモ考ヘラレマスケレドモ、併ナガラ

他ノ約合、其他ノ事情ノ爲ニ五割ニ止メタ次第アルノデ

ハ獨リ檢事總長ノミカ取残サレテ會計檢查院長ヤ行政裁

判所ノ長官ノ如キハ、現ニ親任ニナッテ居ラレル次第アリマス

○委員長(侯爵細川護立君) 御異議ナイト認メマス、ソ

レデハ便宜ノ爲ニ裁判所構成法中改正法律案ノ御質問

ガアリマスレバ、此際願ヒタイト思ヒマス

ゴザイマスカ

「異議ナシ」下呼フ者アリ

○委員長(侯爵細川護立君) 御異議ナイト認メマス、ソ

シテ委員外アリマスガ、此前ノ本會ノ時ニ私ガ憲法トノ

關係ニ付キマシテ御尋ね致シマシタガ、其際委員會デ詳細

ノ説明ヲスルト云フ御約束デアリマスカラ、ドウカ此際詳細

ノ説明ヲ伺テ置キタイト思ヒマス

○政府委員(鈴木喜三郎君) 佐竹サンノ御問ニ御答ヲ

致シマスガ、判事ハ終身官デアルト云フコトガ憲法ニ於テ保

障サレテ居ルモノヲ、斯カル法律ニ依シテ其職ヲ退カシメルコ

トハ、憲法違反ノ嫌ヒハナイカ、斯ウ云フ御質問ト承ルノデ

ゴザイマスガ、憲法ノ五十八條第二項ニ於キマシテ「裁判官

アリマス、ドウノ此案ハ大局ノ上カラ御判断ヲ願シテ而シテ

御通過アラムコトヲ切望スル次第アリマス、尙ホ詳細ナ所

ハ政府委員カラシテ尙ホソレカラ此構成法ノ改正ニ伴ヒマ

シテ恩給法ノ改正案モ出テ居ルヤウナ場合モゴザイマス、即チ

ベキモノデアル、斯様ナ趣旨カラ普通文官ノ受クル所ノ恩

給ヨリモ通ジテ之ヲ増加シテ、都合ノ爲ニ停職ニ至ル所ノ

者ニ限シテ、普通文官ヨリ五割ノ恩給ヲ増シテヤル、是ハ五

割デハ甚ダ氣ノ毒ノヤウニモ考ヘラレマスケレドモ、併ナガラ

他ノ約合、其他ノ事情ノ爲ニ五割ニ止メタ次第アルノデ

ハ獨リ檢事總長ノミカ取残サレテ會計檢查院長ヤ行政裁

判所ノ長官ノ如キハ、現ニ親任ニナッテ居ラレル次第アリマス

ベキモノデアル、斯様ナ趣旨カラ普通文官ノ受クル所ノ恩

給ヨリモ通ジテ之ヲ増加シテ、都合ノ爲ニ停職ニ至ル所ノ

者ニ限シテ、普通文官ヨリ五割ノ恩給ヲ増シテヤル、是ハ五

割デハ甚ダ氣ノ毒ノヤウニモ考ヘラレマスケレドモ、併ナガラ

他ノ約合、其他ノ事情ノ爲ニ五割ニ止メタ次第アルノデ

ハ獨リ檢事總長ノミカ取残サレテ會計檢查院長ヤ行政裁

判所ノ長官ノ如キハ、現ニ親任ニナッテ居ラレル次第アリマス

ベキモノデアル、斯様ナ趣旨カラ普通文官ノ受クル所ノ恩

給ヨリモ通ジテ之ヲ増加シテ、都合ノ爲ニ停職ニ至ル所ノ

者ニ限シテ、普通文官ヨリ五割ノ恩給ヲ増シテヤル、是ハ五

割デハ甚ダ氣ノ毒ノヤウニモ考ヘラレマスケレドモ、併ナガラ

腰が立タナクナツタト云フ位ノ、所謂實質上職務ガ下ウシテ
モ執ルコトガ不可能デアルト云フコトノ事實顯著ナル場合
デアツナラバ、總會ノ認定ハ容易ク出來マセウケレドモ、精
神上ノ衰弱ヲ認定スルト云フコトハ尙ニ困難ナコトデアリ
マス、從^レテ困難ナル所カラ致シマシテ判事總會ニ於テモナ
カナカソレダケノ認定ヲスル勇氣大膽ト云フモノハ出テ來
ナイ、ソレハ人ノ見方ニ依^テ、アイハ馬鹿ダトカ何トカ俗
ニ申シマスガ、正式ニ御前ハ精神ガ衰退シテ居ルト云フコト
ノ認定ト云フモノハ、人情カラ見マシタ所ガ、ナカナカ出來ベ
キコトデハナイ、サウ云フ譯デゴザイマスカラ、此七十四條ト
云フモノハ殆ド明治四十年此方一件モナイ、テ私が申シマ
シタノハソコラノ事情ニ依リマシテ、大抵此七十四條ヲ適
用スル場合ハナイノテス、サウシテ見レバドウシテモ標準トシ
テ、先づ日本ノ人間トシテ此位ノ年齢ニ達シタラバ、後進
ノ爲ニ進路ヲ開クト云フコトハ當リ前デハアルマイカ、民法
ノ制度ヲ引ク譯デハアリマセヌカ、一家ノ戸主ニ致シマシテ
モ六十二達スレバ何等ノ條件ナクシテ隠居が出來ルト云フ
位ニモナツテ居ルノアリマスルカラ、是ハ満六十三、即チ數
ヘ年六十五ト云フコトニシタナラバ、ソレソ以テ定年ニスル
ト云フコトハ敢テ不穩當デハアルマイ、斯ウ云フ考デアリマ

○磯部四郎君　此七十四條ノ一ノ大審院長年齢云々ト云
云フコトニ付テ、總會ノ決議ニハ今日迄ハ此大審院長ノ
進退ニ付テ總會云々ト云フコトノ規定ガ、チヨット見エテナ
イヤウニ考ヘテ居リマスルガ、テ茲ニチヨット伺キタイノ
ハ、若シ此法律ガ布カレルコトニナリマシテ、サウシテ大審院
長ニ限ヌテハ、控訴院ナリ大審院ノ總會ノ決議ニ依ヌテ、五
年以内ノ期間ヲ定メテ尙ホ在職セシムルコトガ出来ル、同
ジ親任官デアッテ檢事總長ノ方ハ、是ハ行政官ノコトデアル
カラ、固ヨリ檢事局デノ決議アナイ所カラ來タノアリマス
ウガ、是ハ司法大臣ガ五年以内ノ期間ヲ定メテ在職スルコ
トガ出來ル、斯ウ云フコトニ出來タノハ至極結構ノヤウニ
考ヘラレマスガ、併シ大審院長ノ進退ト云フモノシ、其ノ大
審院ノ決議ニ依ヌテ五箇年ノ間尙ホ在職セシムルコトヲ得
ルト云フノハチヨット上長官ガ：：衆議院議員ノ候補者ガ
選舉人ニ御辭儀ヲスルヤウナ工合ニナリマシテ、甚ダ司法
省ノ：：大審院ノ威信ト云フヤウナコトニ、斯ク云フ規定ガ
觸レルヤウナ虞ハナイデアリマセウカ、モウ五年置イテ貴ハヌ
ト甚ダ困ルカラト云ウテ、各部長ヤ各判事ニ朝カラ晩マデ
御辭儀デモシテ居ラナケレバナラヌト云フコトニナルト、大
變マヅクハナイカト考ヘマス、是邊ノ御考ハ何トカナイモノ
デアリマセウカ、私ハ精神ニ於テ五年ヲ延長セシムルコトヲ
得ルト云フ事柄ハ惡ルクハ思ハヌノアリマスケレドモ、ソレ

○政府委員（鈴木喜三郎君）　總て判事ノ進退ニ付キマシテハ、礎部サンノ御承知ノ通り懲戒ト云フモノハ、判事懲戒法ト云フモノニ依テヤルコトニナシテ居ル、サウシテ判事ノ組立テ居ル裁判所ガ懲戒スル、檢事ノ方ハ高等文官懲戒令ニ依リマシテ懲戒スルト云フノデアリマス、ソレカラ轉所ト云フ規定ガアル、判事ヲ轉所スルニシテ判事總會ハ其例ニ倣ヒ判事總會ト云フコトニ致シマシタ、而シテ今ノ御説ノ如ク大審院長ニ對シ、判事總會ニ掛けルト云フコトニナレバ、是ハ見様ニ依テハニツチナラウト思フ、御説ノ如ク大審院長ガ都下ニ媚ビテ自分ノ命乞ヒヲスルヤウナ陋態ヲスルト云フコトハナイカ、ト云フ見方モアリマセウケレドモ、一面カラ見レバ都下ノ者ガ長官ノ命繫ギノ判決ヲスル、是ハ無論命繫ギノ決定ヲスル、ソレハ斯ウ云フ議論モ起ル、然ラバサウニ云フ手續ヲ止メテシマッテ、檢事ト同ジク司法大臣ノ行政處分デ延長ヲスルト云フコトニシタラドウカト云フ問題ガ起ルノデアリマスケレドモ、ソレハ唯今申シマシタ通り、先づ判事ノ進退ニ付キマシテハ、悉ク總會ト云フコトニナシテ居ルカラ、ソレニ依テソレニ泥シテ、此通リニ致シタ次第デゴザイマス、別段斯様ナコトニナシテ居リマシタカラト云フテ大審院長ガ都下ニ哀願シテ命乞ヒヲスルト云フヤウナ卑怯ナコトモナカラウカト思ヒマス、其點ハ御安心ヲ願ヒマス
○礎部四郎君　ソレカラチヨント伺シテ置キタウゴザイマス、元來此親任官ト云フヤウナ方マデ、行政ヲ懲戒處分ト云フモノガアタダアリマセウカ

○矢口長右衛門君　此施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ定ムト
アリマスガ、是ハ凡ソイツマデニシテ若シ是ガマルデ通過シテシ
マッテモ、イツ頃施行ナサルノダマリマスカ
○政府委員(鈴木喜三郎君)　マダ省議デ定メタモノハゴ
ザイマセヌガ、若シ準備ノ餘地モアラウト思ヒマス、年内ニハ
必ず實施ガ出来ヤウト思ヒマス、九月、十月、十一月頃、其
頃ノ先ゾ豫定アリマス
○矢口長右衛門君　又此法律ニ依リマスルト、統計致シ
マシテ、ドレ位ノ人間ガ餘ルヤウナ都合ニナリマセウカ
○政府委員(鈴木喜三郎君)　本年十二月三十一日マデ
ニ六十三以上ノ者ガ二十人アリマス、十二月三十一日マ

デデスナ

○委員外議員(男爵佐竹義準君) 先程御説明ニアリ
マシタ、大審院長ニ限リテ六十五トシテ、其他ノ職ニアルモノ
ハ六十三斯ウ分ケテアルガ、チヨツト素人ガ考ヘマスト、大
審院長ニ云フモノガ最高デアッテ、裁判所トシテハ最モ重キ
ヲ置カナケレバナラヌカラシテ、年齢ハ年ヲ取タ者ゲ良イト
云フコトデアラウト存ズルノデゴザイマス、一方カラ申シマス
ト、大審院ノ仕事ハ最モ重大ナ所デアル、ソコデ年ヲ取タ
人デナケレバナラヌト云フナラバ、控訴院アタリデアッテモ、矢
張リ若手ヨリモ年功ノ人ノ方が良クハナイカト思フノデアリ
マス、ソコデ六十三ト六十五ニハ、僅カ一年ノ差ガアルト云
フノハドウ云フコトカラ出タモノニアリマセウカ、之ヲ同ジク
六十五トカ六十三トカニ、御決メニナルト云フ譯ニハ行カヌ
ノデスカ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 御尤ノ御質問ニアリマシ
テ、僅ニ六十五ト六十三ト、其間二年キリ達ハナイト云フノ
ハ餘り距離ガ短カイデヤナカ、斯ウ云フ御議論ト承知スル
ノデゴザイマスルガ、此點ニ付キマシテハ色ニ議論ガゴザイマ
シテ、六十歳、六十五歳ト云フ說モアリマシテ、省
議ヲ決定スル時ニ於キマシテハ、結局此提出致シマシタルヤ
ウナ案ニトリマシタノデアリマスルガ、ドウシテモ此控訴院以
下ノ判檢事ノ仕事ト云フモノハ、御承知ノ如ク單ニ訟廷ニ
於テ裁判事務ヲ執ルバカリデナク、裁判所外ニ出テ、臨檢
捜査等ノ仕事モアリマスルノデアリマスカラ、ソレハ大審院
長ヤ檢事總長トハ違ヒマシテ、肉體上ノ勤勞ト言フモノガ
アリマシテ、サウ云フ譯カラシテ大審院長ト檢事總長ハ六
十五ト致シマシタ、其他ノ者ハ六十三ニ致シマシタ、斯ウ云
フコトデゴザイマス、タダ二年キリ間ヲ置カナイト云フノハ、
別段意味ガアタノデナインデスガ、同一ニスルコトガ出來ナ
イト云フコトハアルノデス

○委員外議員(男爵佐竹義準君) 是ハ實ハ立入タコト
ニナルカ知レマセヌガ、唯今御説ノ通り控訴院以下ノ方々
ハ肉體上ノ關係云々ト云フ御説デゴザイマシタ、斯ウ云
控訴院長トカ地方裁判所長トカ云フモノハ、成程或部ノ
長トシテヤル場合モゴザイマセウガ、多クノ場合ハ代理ノ人
ガ實際上ヤシテ居ルヤウニ思ヒマス、サウシテ所長アタリニナ
ルト行政上ノ仕事ガ多イカラ、實際上ノ裁判事務ニ自カラ
携ハルト云フコトガ出來ヌカラ、代理ガアルナラバ他人ガ之
ニ代テヤルト云フコトデアル、是ハ實際デアラウト思フ、サウ
致シマスト決シテ一年或ハ一年位ノ差ノ人ガ、其職務ニ堪
ヘラレヌト云フコトハナカラウカト思ハレルノデ、是ハ實際上
ニナルカラ、チヨット伺ヒ方ガ惡イカモ知レマセヌケレドモ、一
應…

○政府委員(鈴木喜三郎君) 成程其佐竹サンノ仰シャ
ル通り所長トカ院長トカ云フモノハ、自カラ訟廷ニ立テ裁
判事務ヲ執ラナイト云フノガ實際デハナイカト云フ御説デ
アリマスルガ、ソレハ成程サウ云フ所ガゴザイマス、例ハベ東
京トカ大阪ノ如キ大裁判所ニナリマスト、行政事務ダケデ
モ中ニ忙殺サレテ居ルノデアル、サウシテ白カラ裁判事務ヲ
執ルコトガ出來ナインデアリマス、田舎ノ裁判所ニ於キマシ
テハ、今日ハモウ二三司法大臣カラ強キ訓戒が出来マシテ、自
ラ裁判事務ヲ執ラナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニシテ居ル
カラシテ今度ハ、所長自ラ裁判事務ヲ執ルコトニナシテ居ル
ノデアリマス

○仲小路廉君 少シ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、此規定ニ
付キマシテ、段々疑ノアル點ハ先刻佐竹男爵カラモ御質問
ニナッタノデアリマス、ソレニ付テ政府委員ノ御答辯ヲ願ヒマ
ス、結局問題ハドウナルカト云フト、佐竹男爵其外ノ方ニノ
御疑ハ憲法デ司法官ノ地位ヲ保障シテ居ル、刑法ノ宣告
若クハ懲戒ノ處分ニ依ラズバ、其職ヲ免ズルコトガ出來ヌ、
斯ウ極マシテ居ル、ソレコトハ度ノ年齢ノ制限ヲシテ仕舞テ、サ
ウシテ現在居ル裁判官其人ノ地位ヲ法律ノ規定ヲ強制的
ニ退職セシムル、茲ニ於テカ憲法ニ於テ司法官ノ地位ヲ保
障シテ居タコトガ、此規定ノ爲ニ動搖ノ端緒ヲ開キハセヌ
カトスウ云フ疑ダト思フ、此疑問ハ誰シモ浮シテ來ルコトデ
ハナイカト思ヒマス、憲法ニ於テ態、司法ノ規定ヲ別ニ設ケ
テ居ル、是ハ餘程司法ノ爲ニハ地位ノ保障ガ強ク出來テ居
ニ動搖ヲ來スト云フコトガアリマスト云フ、是ハ甚ダ憂フ
ベキコトデアルト思フ、現在ノ如クニ司法大臣並ニ司法省
ノ方ニハ決シテ御無理ナ立法ヲ爲サルトモ、不條理ナ立法
ヲ爲サルトモ思ヒマセウガ、憲法ノ精神、司法ノ尊重ヲ保障シテ居ル其
ニ規定ガ出來テ來ヌトハ圖ラレマセヌノデアリマス、其ノ場
合ニハ遂ニ前例タ前例タ云フコトガ重キヲ爲シテ參リマ
シテ、其時ニナシテ取返シテ付カヌヤウナコトガ出來テ參リマ
ス、折角帝國憲法ニ於テ司法ノ獨立ヲ尊重シテ居リマシ
タ事柄ガ、是ガ爲ニ動搖ノ端緒ヲ開クコトニナリマスルト、
今日此議席ニ議シテ居ル我ニハ隨分責任ヲ重ク見マス、ソ
レデスカラ私ノ質問イタシマス趣意ヲ、ドウカ能ク御了解ヲ
願ヒタイト思ヒマス、何處マデモ司法權ハ尊重イタシテ置キ
シテ居リマシテモ何デモナイ、此所ハ餘リ字句ノ末ニ驅シテ、官
ト職トハ別ダカラ、官サヘ殘シテ置ケバ職ハドウデモ構ハナ
イ、是ハ既ニ末尾ニ驅ル、字句ノ末ニ驅シテ遂ニ憲法上司法
趣旨カラ申スト職ヲ退クラレバ何デモナイ、官名ダケヲ有
立テ、官ヲサヘ奪ヒ取ラナケレバ、職ヲ退カシムコトヲ法ノ
規定ニヤシテモ差支ハナイ、是ハ字句ノ末ニ繫シテ、サウハ
申サレマセウガ、憲法ノ精神、司法ノ尊重ヲ保障シテ居ル其
ハナイト私ハ思フ、ソレデゴザイマスルカラ官ト職トニ區別ヲ
立テ、官ヲサヘ奪ヒ取ラナケレバ、職ヲ退カシムコトヲ法ノ
規定ニヤシテモ差支ハナイ、是ハ字句ノ末ニ繫シテ、官
ト職トハ別ダカラ、官サヘ殘シテ置ケバ職ハドウデモ構ハナ
イ、是ハ既ニ末尾ニ驅ル、字句ノ末ニ驅シテ遂ニ憲法上司法
權ノ保障ヲ爲シテ居タコト言フ根本主義ヲ失ヒハセヌカト、
私ハ疑フノデアリマス、然ラバ構成法ノ七十四條ノ規定、身
體精神ノ衰弱ニ依テ職ヲ退クコトガ出來ル、是ガアルカラソレデ
會ノ決議ニ依テ職ヲ退クコトガ出來ル、是ガアルカラソレデ
十四條ノ規定ト言フモノハ誠ニ能ク趣意ガ立ツテ居ルト
ハ憲法ノ趣旨ニハ違フト云フ論ガ出ルカラモ知レマセヌガ、是
亦杓子定規ニハ言ヘヌト思フ、凡ソ法律ハ憲法ノ趣旨ヲ明
ニスルコトノ爲ニ規定サレタコトモアリマセウ、此從前ノ七
十四條ノ規定ト言フモノハ誠ニ能ク趣意ガ立ツテ居ルト
ハ、無理ナ話デアル、加之餘程注意ガシテアッテ、裁判官判
事ノ地位ヲ根據トシテ居ル總會ノ決議ニ依リ、大審院ハ大
審院ノ總會ノ決議、控訴院ハ控訴院ノ總會ノ決議、是ハ
ニ依テ判事ノ職ヲ退カシムルト云フコトヲ始メルコトハ今

身體共ニ衰弱シテ居ル者ハ、判事全體司法官全體ノ信用ヲ維持スル上ニ於テ、退ク途ヲ執タラドウカ、誠ニ此自治ノ精神ヲ以テ規定ヲ致シテ居ルト云フコトハ能ク分^クテ居ル、之ヲ直チニ取^ルテ以^テ遂ニ其意ニ反シテ、六十三歳、五十五歳^ニ退カセルト云フ斯^ニ云フ規定ヲ爲サルルニ至^ラテハ、即チ最初ノ例ガ段々是^ニ擴張サレテ、斯^ニカル遂ニハ憲法上ノ精神ヲ沒却スルヤウナコトヲ又他日立法ハ致シハセヌカト私ハ憂ブルノニアリマス、構成法ノ七十四條ノ規定ハ今申スヤウニ、矢張リ憲法ノ規定ニ於テ司法權ヲ尊重シテ居リ、判事ノ地位ヲ保障シテ居ルト云フ爲ニ、ソレ^ヲ仲間合ノ總會ノ決議ニシテ、ソウシテ自治的ニヤ^ツテヤルト云フ處置ハ、能ク解^クテ居ルノニアリマス、是コソ即チ憲法ノ附屬ノ法律トシテ、憲法ノ趣旨ノアル所^ヲ明カニシテ、判事ハ他カラ無闇ニ罷メラレルモノデハナイ、矢張リ地位ヲ保障シテ自治的ニドコマデモ、安定ヲ與^ヘテ居ルト云フ趣意^ヲハナカラウカト思ヒマスガ、之ニ付キマシテドウ云フ御考デアリマスカ○政府委員(鈴木喜三郎君)御尤モノ御尋^ネアリマシテ、苟モ憲法並^ニ構成法ニ於テ判事ノ位置ヲ保障シテ居ルト云フ事柄ハ、即チ身分ヲ保障シテ終身官ト爲ス、職務ノ保障ヲ致シマシテ無暗ニ行政官ノ容喙ヲ許サヌト云フ神デアルノデアリマス、無闇ニ喙ヲ容レナ自分ノ意ニ反シテ所カラ致シマシテ、裁判上ノ職務ナルモノニ向^クテハ、行政上官ノ命ニ依^テ裁判ヲシナケレバナラスト云フコトニナッタ長官タル司法大臣ト雖モ喙^ヲ容レルコトハ出來ナイ、即チ不羈獨立ヲ以テ其職務ヲ行ハシムルト云フノガ憲法ノ精神デアリマスカラ、地位並^ニ職ニ對シテハ安固ナル保障ヲ與^ヘ不干涉主義ヲ取リマシテ、決シテ大臣ト雖モ判事ノ職ニ容喙スルコトヲ許サヌト云フノハ、所謂後顧ノ憂ナク安シジテナラバ、司法・行政ノ區分ト云フモノハ全然滅却セラレル譯^テデアリマスカラコトデモ、今ノ憲法ノ精神デゴザイマス、ソレデゴヤイマスカラ唯今仲小路サシノ御憂ヒニナル通り、官ヲ奪ハネバ職ヲ取^ルテモ、其他ノ方法ヲ採^ルテモ苟モ法律アルナラバドンナコトデモ、今ノ憲法ノ精神ヲ沒却スルヤウナ法律ヲ擁ヘルヤウニナシテハ是ハ由々數コトデアル、是ハ御尤モノ御質問^シテ、御尤ノ御留意デアルト思ヒマス、此點ハ司法當局トシマシテハ、慎シニ最モ慎重ニ考慮シナケレバナルヌコトデアリマシテ、苟モ法律ヲ以テドシ^ク裁判官ノ位置ノ安固ヲ害シ、職務ニ干渉スルヤウナコトヲシテハナラヌコトハ、是ハ當然ノコトデアリマス、司法大臣トシテ最モ慎シム所^ヲアリマス、ソレハ十分心得マシテスルコトデハゴザイマスガ、今回提案致シマシタ此定年制度ト云フモノハ、御承知ノ如ク司法事務ノ改善ヲ圖ル上ニ於キマシテ、七十四條ガアリマシテモ、其七十四條^ヲハ所謂終身官ニ立籠

識識量ヲ具ヘテ居ル人ガ、事實ニ於テ今日ハ司法部内ニ
於テ丁度六十三前後ノ方ニ多クハナイカト思ヒマス、問違ツ
テ居レバ何デアリマスガ、サウ云フヤウナ未ダ身體精神共ニ
衰弱致サズ、折角熟練ヲ經テ參^シテ、此處デ世人ノ信望モ
厚カラウカト云フ時ニ、十把一束ト申スト變デアリマセウガ
偶、其年ニ達スレバ皆退職サレル、唯ダ爰ニ五年間ハ總會
ノ決議デ留職スルコトガ出來ルト云フコトデアリマスガ、構
成法ノ七十四條デ退職ヲサレルニ付テハ云々ト云フ決議
ハナンデアリマスガ、殘シテ戴キタイト云フコトヲ、ソレヲ大
審院若ハ其他ノ總會ノ決議デ残シテ戴キタイト云フコトノ
決議ヲ受ケルト云フコトハ、是ハ隨分困ルコトデス、斯ウ云
フ場合ナラバ寧ロ意氣ナル人デアルナラバ、ソンナ情ナイ
コトハセズニ、定年齡ガ來タラバ、サササト退クテアラウト思
フ、スルトドウナルカ、私ハ思フ、サウ云フ有爲ノ人ナラバ、矢
張り在野ノ法曹トナル、私ハサウ思フ、私ハ在朝在野ニ拘
ラズ、法曹ハ法曹トシテ尊ンデ宜シイ、サウ云フコトニナルト
存ズル、在野ノ法曹ニハ大家ガ多ク、在朝ノ人ミハ却テ在
野法曹ニ比ベテドウ云フ缺陷ヲ見ルヤウニナルカ知レヌト
思ヒマス、素ヨリ各國ノ例等ニ御調べニナシテ居ルコトデア
リマセウガ、各國ニ於テモ相當ノ老練達識ノ人デ民間ノ信
望モ厚ク世故ニ長ケテ、世上ノ人情ニ熟シテ居ルト云フ者
ハ、裁判官トシテ最モ尊ブベキモノデナイカト思ヒマス、司法
大臣並ニ司法當局ノ企テ司法官ノ刷新改良ノ事モ、結構ノモノデゴザイマスガ、其刷新改良スルナラバ、能ク世上
ノ事情ニ通ジテ、民間ノ信望ヲ全ウスル爲ニ縱令在野ノ法
曹ノ人デモ、在朝ノ人デモ、サウ云フ人ガ就職スルノガ宜シ
イノデアリマス、在朝在野ノ人ヲ集メテ、其途ニ適タル人が
其仕事ニ當ルノガ結構ト思ヒマス、是ハ此ノ方ノ實質ニ付
キマシテ、唯年ガ六十三二ナタラ有爲ノ人デモ棄テ仕舞
フト云フノハ、如何カト思ヒマス、是ハ實質カラ見テ其利害
ハ如何カト思ヒマスガ……

○政府委員（鈴木喜三郎君）退職退官ノ問題ニ付テハ、
先程來申シマシク通り、勿論憲法ノ精神ヲ破ルト云フコト
ハ出來ナイコトデゴザイマンテ、十分司法官ノ獨立ヲ保障
スルト云フコトニ努メナケレバナラヌコトハ、無論ノコトデゴ
ザイマス、サリナガラ憲法ノ解釋ト致シマシテ、官ハ奪フコト
ハ出來ナイケレドモ、其職ヲ退カシムルコトハ出來ルモノダ
ト、憲法ノ精神ヲ解釋シテ居リマスノデ、隨^シテ憲法ノ精神
ガ茲ニ在ルガ故ニ、構成法七十四條モ起シテ來タモノト解
釋シテ居ル、若シ名バカリアフタ所ガ、職上云フモノヲ執ルコト
ガ出來ナケレバ、駄殻モ同然デアルカラシテ、憲法ノ趣意ニ
背クコトニナルト云フコトニナリマスルト云フト、直チニ構成
法七十四條ノ憲法違反ト云フコトニナル次第デアリマシテ、

從來ノ解釋ト致シマシテ、又憲法義解ニ示ス如ク、官ヲ存シテ置ケハ職ヲ奪フコトハ、法律ニ依レバ差支ナイト云フコトガ、憲法ノ精神ナリト解釋シテ居ル次第アリマス、ソレカラシテ他ノ例ヲ申ス必要モゴザイマセヌガ、佛蘭西ニ於キマシテモ矢張リ裁判官ハ終身官トシテ居ルノデアリマス、ソレ矢張リ一面ニ定年制ト云フモノヲ施イテ居ルノデアリマス、又獨逸ニ於キマシテモ、憲法ニ於キマシテ終身官ト定メテアル傍ラニ於テ、定年ヲ以テ退職セシムルコトガ出來ルト云フ規定ヲ置イテ居ルノデアリマス、其他英吉利ニ於キマシテモ、昨今裁判官ニ定年制ヲ施クが正當デアルト云フ議論ガアリマシテ、是ハ雑説ノ掲載ヲ見タニ過ギマセヌノデ、條文ヲ知ルコトガ出來マセヌガ、官途ノ判事ニ對シテ定年制ヲ設ケタト云フコトヲ掲載シタモノヲ見マシタ、要スルニ今日歐羅巴諸國ニ於キマシテモ、判事ヲ終身官トシテ置キナガス、矢張リ定年制ヲ設ケテ居ルト云フ趨勢ニ立至テ居ルノデアリマス、ソレニ別段倣ダト云フ次第デハゴザイマセヌガ、例ガ無イ譯デハナオノデアリマス、ソレハ一概ニ三年ガ六十ニナリ六十五ニナシカラト云ニテ、絕對ニ精神ノ衰弱ナリト認定出來ナイコトハ勿論デゴザイマス、ソレデゴザイマスカラ、或ハ六十三、六十五ニナシテモ、壯者ヲ凌グ人モアラウト思ヒマスノデ、ソコデ五年間ノ延長期間ヲ設ケタ次第デアリマス、勿論此裁判事務ニ當ルベキ者カ、單ニ學問ダケノコトデハ、勿論適當ナル裁判ヲ爲スコトガ出来ナイ、世上ノ経験ヲ積ム、社會狀態ニモ精通シタ者デナケレバ、人ノ信賴ヲ受クベキ裁判ヲ爲スコトハ出來ナイノハ當然デアリマスカラ、十分其方ニ向ヒテ養成シテ往カヌケレバナラヌ、年ト共ニ経験ヲ積ム次第アリマスケレドモ、先づ日本人ノ常態ト致シマシテハ六十三、六十五ト云フ位ニナリマスレバ、ドウデアルカト云フト、ソレハ稀ノコトガゴザイマスケレドモ、概シテハ六十五位ニ達シマスレバ、進境ニ至ルト云フヨリハ寧ロ退境ニ進ム、即チ老衰ト云フコトハ言ヘマイケレドモ、進ムヨリハ退ク方ノ能力ニナラウカト云フ鑑定カラシマシテ數ヘ年六十五ト云フコトニ限度ヲ定メシタデアリマス○磯部四郎君 今仲小路サンカラ御議論ガ出テ居リマスガ、果シテ憲法違反ノモノデアルト云フナラバ、是ハ大事ノ問題デアリマスケレドモ、私ハ憲法ノ五十八條ノ二項ト、本案トハ文字ノ上ニ於テ、法律ノ條文ノ上ニ於テ、明カニ牴觸シテ居ルモノデナカラウカト思フノデアリマス、ト中シマスノハ憲法ノ五十八條ノ第二項ノ方デハ、職ヲ免ゼラル、コトナシ、斯ウアリマスノハ、詰リ免官ト云フ意味ニホカ讀マレスト私ハ考ヘル、其外構成法等ニゴザイマスノハ、判事ノ名稱竝ニ宮中ノ次第モ、矢張リ其司法ノ局ニ當ツテ、サウシテ之ヲ維持シテ居ル者ニハ、休職退職ノ名前ハゴザイマス

ケレドモ、免職ト云フ文字ハ一ツモナイヤウニ、私ハ見テ居リ
マス、ソレデ成程裁判官タル者ガ、所謂構成法ノ第六十七
條ニモ明カニ古イテアル如ク、所謂行政官ノ刺戟、或ハ色コ
ノ状態カラ考ヘテ、毅然トシテ自分ノ信ズル所ニ依テ、法
律ヲ適用シテ行クヤウニスルニハ、何所マアモ終身官ニセヌ
ケレバナラスト云フ趣意カラ來テ居リマスノデ、併ナグラソレ
ダケノ信賴ヲ法律上與ヘラレル、所謂ソレニ對シテ其人ノ
知識其人ノ經歷等ニ於テ、又一方ニハ國民ニ十分信賴ヲ
受ケルダケノ資格ガ、共ニ附隨シテ存在シテ居ラヌケレバナ
ラヌ、場合ニ依ルト云フト、法律上ノ終身官タルヲ橋トシテ
其職ニ在ルト雖モ、十分ニ職ヲ執ルコトガ出來ナイ、所謂精
神耗弱ト云フヤウナ者が出テ來テハナラスト云フ所カラ、又
一方ニハ裁判官ノ終身官タル地位ヲ保護スル同時ニ、國
民ノ信賴ヲ維持スル所ノ法律モ設ケナケレバナラナイ、ソレ
ハ何ニ依テ設ケラレテ來タカト申シマスト、構成法ノ第七
十四條ガ其趣意デ出テ來テ居ルダラウト思ヒマス、チヨット
タ所ニ依ルト、大審院院長検事總長ダケ延スト云フノデハ
之ニ付テハ速記ヲ御見合セヨ願ハナケレバナラスト考ヘマス
ナイノデアリマス

〔速記中止〕

○委員長(侯爵細川護立君) 速記ヲ始メテ：

○政府委員(鈴木喜三郎君) チヨット申上ダマスガ、勿論
サウニ云フ御趣意デハナイノデゴザイマセウカ、チヨット私ガ承
タ所ニ依ルト、大審院院長検事總長ダケ延スト云フノデハ
ナイノデアリマス

○磯部四郎君 サウデスカ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 是ハ總テノ判檢事モ延バ
スノアリマス

○磯部四郎君 分リマシタ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 法律デ定メテ居ルノデアリ
マス、司法大臣ガ免ヤ角スルノデハゴザイマセヌデ、一定ノ年
齡ニ達シマスレバ法律上當然退職ニナルノデ、唯先程仲小
路サンカラ仰セノ通り、六十五ニナダカラ六十三ニナダカ
ラト云フテ、悉ク頭ガ惡クナツテ仕舞フ世故ニ暗クナ、テ仕舞
フト云フ譯ハナイチヤナイカ、中ニハ良イ人モアルデハナイカ、
ソレ故ニ五年間ハ延バスト云フ、斯ウ云フ所ノ裕リヲ取タ
ニ過ギナイノデアリマス

○仲小路廉君 更ニ伺テ置キタイ、此法案ハ隨分關係ハ
廣イコト、存ジマス、ソレヲ此短期日ノ特別議會ニ是非之
ヲ通過セシメネハナラスト云フ必要ハドウ云フ點デゴザイマ
スカ、私ハ努メテ質問ニ止メテ置キタイ、唯今磯部君カラ大
分御説が出マシタ、意見ノ交換ハ又別ト致シマシテ、要點ニ
ニ、是非共此關係ノ深イモノヲ通過セシメナケレバナラスト

○政府委員（鈴木喜三郎君）是ハ先程司法大臣カラ大略説明ガアリマシタ通り、此法案ハ祕密ニ付シテ置キマシタル關係カラ、恰モ突如トシテ此特別議會ニ提案ニナッタ觀ガゴザイマスケレドモ、司法當局ト致シマシテハ、是ハ一年ヤ二年ノ問題デハナイノデアリマス、ドウシテモ今日改良ヲ圖ルニハ定年制ヲ布クガ一一番宣カラウカト云フコトノ考ヲ、二三年前懷キマシテ、法案ハ種々ニ編製ヲ致シマシタ、既ニ當春ノ議會ニ提出セムトスル仕組ニマデ立至ラテ居タノアリマス、所カ不幸ニシテ解散ニナリマシテ、提案ヲ見ルコトが出来ナカッタノデアリマス、且論見ハ二三年前カラアリマシテ、既ニ當春成案ハ昨年ノ暮ニハモウ出來ア居タノアリマス、唯解散ニナリマシタ爲ニ此春出サナカッタノデ、決シテ今日此短期間ノ議會ニ出サナケレバナラヌト云フ必要ヲ、俄ニ生ジタト云フ意味デハナイノデアリマス

○仲小路廉君 成案ニ付キマシテハ、色々御考慮ニナッタコトデアリマセウガ、私ノ伺フ趣意ハ、此短期議會ニ之ヲ御出シニナリマスニ付テハ、差當ヲ急速ニ施行スル必要ガアル、何カサウニ云フ御必要ガ急ニ迫テ居ルノデゴザイマス

○政府委員（鈴木喜三郎君） 今日唯今ニ於テ俄ニ必要ガ突發シタト云フノデハナイノデアリマス、唯今申シマス通り、モ二二三年來研究ニ研究ヲ重ネテ居タノデアリマス、斯カル法案ヲヘル必要ガアルト云フコトハ二三年前ヨリ考ヘテ居タノデアリマス、サウ云フ譯デアリマスカラ、一日遅ルレバ一日ダケ其必要ニ迫ラレテ居ルト云フ譯デアリマスカラ、此短期議會ニモ拘ラズ提案シタ次第デアリマス

○仲小路廉君 尚モウ一點伺テ置キマスガ、此法律ニ關シマシテ、茲ニ其定年ニ關シテ退職判事其他ニ付テノ恩給ヲ特ニ御決メニナンテ居リマスガ、此趣旨ハ洵ニ人情ニ厚イト云フ點ハ了解イタシテ居リマスガ、併ナガラ制度ト致シマシテハドウカト思フノデス、既ニ判事ノ年齢ガ六十三年若クハ六十五年ニ達スレバ、此重要ナ司法ノ職ニハ從事セシムモノナルノニ、此際三限ヲテ、特ニ恩給ニ付テ特別ノ取扱ヒヨコトガ出来ヌト云フコトヲ、國家が必要ト認ムテサウシタノデアリマス、是ハ人情ノ上カラハ忍ビ難イデハアラウガ、ソレハ公ニハ今言ヘナイガ、當然サウナルトハ……サウナルベキモノナルノニ、此際三限ヲテ、特ニ恩給ニ付テ特別ノ取扱ヒヨコトガ出来ヌト云フコトハ是ハ人情ニ厚イト云フ點ハ洵ニ結構デゴメルト云フコトハ甚ダ人心ニ對シテ面白クナイ感ジヲ與ヘルノデアリマス、洵ニ卑陋ナ心情ヲ起ス因ニナリハセヌカト思

ヒマス、判事殊ニ司法官トシテ勤勞ニ厚カダト云フナラバ、ソレニ付テハ無論相當ニ優遇スルモ宜シウゴザイマセウガ、何トナクスウ云フ際ニハ一方ニハ喰ハスニ利益ヲ以テシテ、他方カラハ其地位ヲ強制シテ退カシメル、洵ニ司直ノ府トシテ甚ダ如何カト存ジマスガ、是ハ他ノ諸官吏其外ニハ影響ハ及ビマセタデゴザイマセウカ、矢張リ一般ノ權衡ヲ御考若モ優遇ノ途ヲ開イタ例モアルノデゴザイマセウカ

○政府委員(鈴木喜三郎君) 唯今仲小路サンモ仰シヤ、ニ於キマシテモ、一般官吏ノ退職恩給ト違ヒマシテ、此判検事ノ退職恩給ト云フモノハ率ガ高マヌケ居ルノデアリマス、而シテ從來裁判官ノ保障ト云フモノハ限定サレテ居リマシテ、構成法ノ七十四條七十五條以外ニ於テハ、其職ヲ退ケラレルト云フノハナイ、ソレヲ茲ニ新ニ定年制ヲ布イテ豫期ニ反ベル結果ヲ引起サフルト云フヤウナコトニモナリマスカラ、ソコデ一面ニハ慰安ト言テモ語弊ガアリマスガ、既ニ先ニモ例ノアルコトデアリマスシ、自分ノ豫期ニ反シテ斯ウ云フ俄ニ途中カラ定年制ト云フモノモ布カレルト云フコトニナツタノデ、普通文官ニ比ベマシテ多少ノ優遇ヲ與ヘルト云フコトハ、敢テ不當ノコトデハアルマイ、又其法案ガアル爲ニ司直府ニアル人ノ心ヲ下卑化スルト云フ、卑陋ノ念ヲ起セセルヤウニナルト云フコトモナカラウト思ヒマシテ、茲ニ提案ヲ致シマシタ次第、ゴザイマス、ソレ故ニ本法施行ノ際ニ在職シタルモノニ限りマシテ、本法施行後新ニ任官セラレル者ニ對シテハ、此優遇ハ與ヘナイト云フコトニナルノデアリマスカ

○仲小路廉君 尚兩三點ヒタイノデアリマスガ、他ニ御質問ノ方ガゴザイマスカラ、少シ差控ヘマス

○委員長(侯爵細川護立君) ソレデヤ暫ラク御控ヘニナルノデアリマスカ

○仲小路廉君 ハイ

○委員外議員(男爵佐竹義準君) モウ一ツ伺ヒタイ、先程次官カラノ御説明ガアリ、又仲小路サンカラノ御質問ニ對シテ御辯明ガゴザイマシタガ、マダ私ハ少シ分ラヌ所ガアルノデアリマスガ、此憲法ノ第五十八條ニ特ニ司法裁判官ダケノ規定ガゴザイマシテ、外ノ例ヲ引イテ申セバ、陸軍ノ將校ト云フモノハ矢張リ是ハ終身官デアル、此陸軍ノ將校ト云フモノハ別ニ規定ナシニ、陸軍ノ將校分限例ノ第二條ヲ以テ「將校ハ終身其ノ官ヲ保有シ之ニ對スル禮遇ヲ受ク」、斯ウアル、ソレカラ又一方ノ會計検査官モ矢張リソレト同ジヤウニ、會計検査院法ノ第六條ノ二ニ於テ同様規定ガア

ル、是ハ此構成法第七十四條ハ同様ノ意味ヲ規定ニナツテ云フコトニナルノデハナイカト思アリマス、ソレアリマス、ソレデ先ホド仲小路サンカラ御質問ガアリマシタ通り、私ハ此職ト云フ字ハ詰リ官職ト云フ意味ニ解シテ差支ヘナカラウト思フ、ケレドモ之ヲ官職ト云フ意味ニ解シマシテモ、茲ニ斯ウ規定セラレテアル精神ハ、先程仲小路君モ御話ガアッタ通り、即チ詰リ職ト云フコトニ重キヲ置カレタ結果デアル、此職ハ他ノ行政官カラ獨立シテ裁判ヲ行ハナケレバナラヌト云フコトカラ、此第五十八條第二ノ保障ガアルノデアリマス、其職ト云フモノハ官職ト云フ意味カラヌレバ、職ガアルカラ官ガアル、官ガアルカラ職ガアル、兩方共一シテナツタバ、何モ憲法五十八條デ此裁判官ダケノ職ヲ保障シナケレバナラヌコトガナイト思ヒマスガ、其邊ハドウ云フコトデアリマスカ、モウ一應：

○政府委員(鈴木喜三郎君) 官ナクシテ職アルコトハアリマセヌガ、官ヲ保テ居シテ職ヲ奪ハレルノガ、即チ退職ト云フコトニナルノデアリマス、御説ノ如ク陸軍ノ方ニ於キマシテモ將校ハ終身官デアリマス、即チ大將トカ、中將トカ、大佐トカ云フヤウナ官ハ、矢張リ終生其官ヲ保シテ居ル、併ナガラ停年制ハ定メテアリマスカラ、將官ハ幾ツニナレバ其職ヲ退キ、佐官級ノモノハ幾ツニナレバ職ヲ退クカ、矢張陸軍停年制ハ布イテアリマスカラ、アレハ官ヲ奪ハズシテ職ヲ奪フコトニナリ

○委員外議員(男爵佐竹義準君) ソレハ私ハ宜ク承知イタシテ居リマス、ソコデ憲法五十八條デ特ニ保障セラレテ居ル、陸軍將校ハ會計検査官等ト違テ、職ト云フコトニ重キテ置イテ、職ト云フ字ヲ用ヒテ居ル、詰リ官職ト云フコトニ見テ居ルノデナイカト思フ

○政府委員(鈴木喜三郎君) ソレハ繰返シマシテモ同ジコトニナツテ居リマスガ、是ハ官ヲ奪フコトナイト讀ンデ居テ職ヲ奪フト云フコトハ差支ナイ、ソレ故構成法七十四條ニモ定メテ居リマス、若シ之ガ官ヲ保タシテモ職ヲ持シテ居ルト云フコトハイケナインデアル、即チ職ヲ奪フト云フコトハ憲法ニ禁止シテアルト解釋スレバ、現行構成法七十四條モ亦イケナイト云フコトニナル、是ハ私共ノ考ニ於キマシテハサウハ讀マヌノデアリマスカラ、是ハ構成法七十二條、矢張リ大正四年ノ法律モイカヌトハ思ハヌノデアリマス

○委員外議員(男爵佐竹義準君) 私ノ申上ダタノハ字デナイン、精神デアル、詰リ職ト云フコトガ書イテアルノハ、官職ト云フコトノ意味デアシテ、之ヲ重ク保障シテアルノハ裁判官ノ上ノ獨立ト云フコトノ精神カラシテ、司法官ノ：

裁判官ノ職ト云フモノハ特別ニ憲法五十八條ニ保障シテアル、ソレカラ官ト云フコトニ之ヲ見マシテモ、官ヲ奪ハヌト

云フコトハ何カト云フト、職ニアルカラシテコソ官ヲ奪ハヌト云フコトニナルノデハナイカト思アリマス、云フコトニナルノデハナイカト思アリマス、

○政府委員(鈴木喜三郎君) 是ハ同ジコトヲ繰述シテ申上デルヤウデゴザイマスルガ、精神ト申シマシテモデスネ、強シテモ、茲ニ斯ウ規定セラレテアル精神ハ、先程仲小路君モ御話ガアッタ通り、即チ詰リ職ト云フコトニ重キヲ置カレタ結果デアル、此職ハ他ノ行政官カラ獨立シテ裁判ヲ行ハナケレバナラヌト云フコトカラ、此第五十八條第二ノ保障ガアルノデアリマス、其職ト云フモノハ官職ト云フ意味カラヌレバ、職ガアルカラ官ガアル、官ガアルカラ職ガアル、兩方共一シテナツタバ、何モ憲法五十八條デ此裁判官ダケノ職ヲ保障シナケレバナラヌコトガナイト思ヒマスガ、其邊ハドウ云フコトデアリマスカ、モウ一應：

○男爵小澤武雄君 如何デアリマセウカ、時間ガアリマセヌノデ、今日ノ質問ハ是デ止メテ、明白又開キタイト思ヒマス

○男爵小澤武雄君 上デルヤウデゴザイマスル譯デハナイ、職ヲ奪ヒマシテモ裁判官ノ不獨獨立デアルトク、裁判官ハ終身官タル所ノ保障ヲ妨ゲルモノデハナイ、斯ウ解釋スルノデアリマス

〔賛成〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵細川護立君) ソレデハ今日ハ是レデ止メス

マス

午前十一時四十三分散會

マス

出席者左ノ如シ	委員長	候爵細川	護立君
副委員長	伯爵寺島	誠一郎君	
委員	男爵小澤	武雄君	
國務大臣	男爵若王子	文健君	
司法大臣	男爵島津	久賢君	
司法次官	磯部	四郎君	
司法省民事局長	松室	矢口長右衛門君	
司法省參事官	山内	廉君	
司法省參事官	飯島	喬平君	
山岡	萬之助君	義準君	

大正九年七月二十五日印刷

大正九年七月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局